

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.2	会 場	栃木県体育館		試合No.	小 山 南	14	22	18	25	79
審 判	(主) 廣瀬 渉	(副) 坂本 秀樹	内野 翔太		C 4	市 立 船 橋	41	24	26	35	126

栃木県立小山南高等学校(栃木)

コーチ 笠越 恵佑 A・コーチ 菅原 貴美 マネジャー

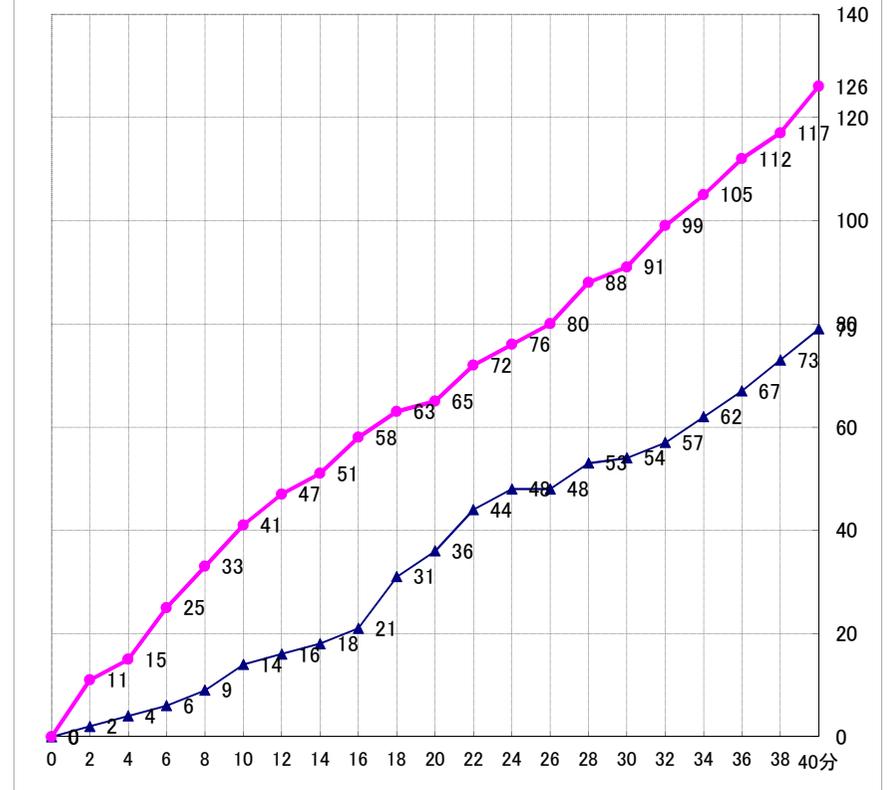
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計	
塩谷 魁	4	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	2	
柳田 一平	5												
橋本 一樹	6	27	5	17	3	11	6	8	3	2	1	3	
橋爪 和弥	7	13	0	6	4	11	5	7	3	1	5	6	
植木 遼亮	8	21	1	4	7	12	4	4	2	1	5	6	
横田 拓磨	9												
瀧野 佑斗	10	6	0	0	2	4	2	4	5	2	2	4	
和田 隆太郎	11												
岩崎 駿王	12										1		
滝田 翔	13	10	1	2	2	8	3	5	5	2	3	5	
眞嶋 歩希	14												
星野 瑠唯	15	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	1	
石塚 光輝	16												
神村 一樹	17	2	0	0	0	2	2	2	2	2	2	4	
水野 優人	18	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
チー ム										0	1	3	4
合 計		79	7	31	18	48	22	32	25	12	24	35	
		成功率	22.6%		37.5%		68.8%						

船橋市立船橋高等学校(千葉)

コーチ 斉藤 智海 A・コーチ 井上 知徳 マネジャー 中川 拓海

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計	
薬丸 侑平	4	6	0	2	3	4	0	1	1	0	1	1	
兼重 パトリック	5	3	0	0	1	3	1	2	1	1	2	3	
永野 雄大	6	8	0	1	3	4	2	2	3	2	2	4	
大澤 響生	7	7	1	6	2	3	0	0	1	2	3	5	
大川 颯斗	8	15	3	7	3	5	0	2	0	2	3	5	
碓氷 真吾	9	10	0	3	4	8	2	4	1	5	3	8	
衛藤 崇	10	2	0	2	1	5	0	0	2	0	3	3	
佐藤 健人	11	6	0	1	3	4	0	0	2	0	0	0	
佐藤 伊織	12	6	0	1	3	5	0	2	0	1	2	3	
樋口 陸	13	14	0	0	4	10	6	12	4	2	4	6	
三上 颯斗	14	10	0	0	5	10	0	0	2	2	4	6	
楊 博	15	6	0	0	3	4	0	0	1	4	0	4	
和田 将英	16	19	0	3	9	9	1	1	1	5	0	5	
田中 晴瑛	17	11	0	2	5	7	1	1	4	0	3	3	
下川 拓海	18	3	0	1	1	3	1	3	3	1	1	2	
チー ム										0	1	0	1
合 計		126	4	29	50	84	14	30	26	28	31	59	
		成功率	13.8%		59.5%		46.7%						

得点経過



戦評

1Q、市立船橋の#8大川が開始直後から連続で得点するなどして先行する展開となる。小山南も#7橋爪や#10瀧野が得点を決め、ゾーンディフェンスで追っていくがなかなか得点が伸びない。対して市立船橋は#8の3Pや#16和田のインサイドからの得点で順調にスコアを伸ばし、少しずつリードを広げていく。小山南も#6橋本の3Pなどで対抗するが市立船橋がさらに点差を広げ、14-41と市立船橋がリードし1Q終了。

2Qでも市立船橋は#8大川や#16和田などが得点を重ね、さらにリードを広げていく。対する小山南も#7橋爪がファーストブレイクからの得点し、#6橋本、#8植木などが積極的に攻撃を仕掛けファウルもらっていく。しかし、市立船橋も#13樋口や#14三上などが得点し追撃を許さない。小山南は終盤でも#6橋本が連続で得点するなどして追っていくが、36-65で市立船橋がリードで折り返しとなった。

3Q開始直後、小山南は#8植木が連続で得点し、さらに#6橋本も3Pを決めていく。しかし、市立船橋も#16和田が速攻などから3連続で得点するなどして点差を縮めることを許さない。小山南はなかなか得点が入らず苦しい状況が続くが、#13滝田が3Pを決めるなどして追っていく。対して市立船橋は厳しいディフェンスから速攻に繋げていき#11佐藤や#14三上などが得点していき、さらにリードを広げて54-91で3Qが終了した。

4Qでも市立船橋は速攻から#17田中などが得点を重ねる。小山南も#6橋本の連続得点などで追っていくが、市立船橋がさらに得点差を広げていく。小山南は終盤にオールコートでのディフェンスを展開し、集中を切らさず追撃の姿勢を見せていくが、市立船橋が冷静に対応して最後までリードを広げ、79-126で市立船橋が勝利した。

記入者 大貫 裕樹